

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【公開番号】特開2005-227637(P2005-227637A)

【公開日】平成17年8月25日(2005.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2005-033

【出願番号】特願2004-37631(P2004-37631)

【国際特許分類】

G 02 B 26/02 (2006.01)

G 02 B 6/00 (2006.01)

【F I】

G 02 B 26/02 B

G 02 B 6/00 3 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月11日(2007.1.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

回転軸を有する回転体と、前記回転軸に固定される取付部と、該取付部に固定され反射面を有する遮蔽板と、前記回転軸を回転可能に支持する回転軸保持部と、前記回転体を移動させる駆動手段と、前記遮蔽板の熱変形手段とを備え、前記回転体の一方向に光軸を合わせて対向配置された一対の光ファイバーの隙間に前記遮蔽板を挿脱させることによって光スイッチ機能が与えられているアクチュエータ装置であつて、前記熱変形手段は、前記遮蔽板の温度を上昇または下降させる熱移動手段と、前記熱移動手段を制御する温度制御手段とを有し、前記遮蔽板の温度を調節することによって、前記遮蔽板の反射面の光軸と光ファイバーの光軸とのなす角度を変化させるように構成することで可変光減衰機能が与えられていることを特徴とするアクチュエータ装置。

【請求項2】

前記熱変形手段は前記遮蔽板の温度を検出する温度検出手段を有し、前記温度制御手段が前記温度検出手段の検出結果に基づいて前記熱移動手段を制御するように構成されていることを特徴とする請求項1に記載のアクチュエータ装置。

【請求項3】

前記熱変形手段は、前記遮蔽板の反射面による反射光量を検出する光量検出手段を有し、前記温度制御手段が前記光量検出手段の検出結果に基づいて前記熱移動手段を制御するように構成されていることを特徴とする請求項1に記載のアクチュエータ装置。

【請求項4】

前記回転体の回転位置を規制する回転規制板と、前記回転体の一端が前記回転規制板の一端と当接した第1の姿勢に、または前記回転体の他端が前記回転規制板の他端と当接した第2の姿勢に、それぞれ自己保持させる姿勢保持手段とを備えたことを特徴とする請求項1に記載のアクチュエータ装置。

【請求項5】

前記回転規制板を前記回転体の回転軸に対して前記回転保持部材と反対の側に設けることで、前記駆動手段を作動させて前記回転体の一端または他端を前記回転規制板の一端または他端に当接させたとき、前記回転軸にはそれを前記回転保持部に向けて押し付ける方

向の力が作用するようにし、さらに、前記熱移動手段を前記回転規制板に配設したことを特徴とする請求項4に記載のアクチュエータ装置。

【請求項6】

前記熱移動手段を前記取付部に配設したことを特徴とする請求項1から5のいずれか1項に記載のアクチュエータ装置。